

# 教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書

【令和6年度実施事業】



令和7年10月

上天草市教育委員会

## 【目 次】

<b>1</b>	<b>点検及び評価制度の概要</b>	<b>1</b>
(1)	目的	1
(2)	点検評価の対象	1
(3)	学識経験者の知見の活用	1
<b>2</b>	<b>点検及び評価の結果</b>	<b>2</b>
No. 1	ふるさとを大切にすゝ心の育成	3
No. 2	時代の変化や教育のニーズに対応した教育の推進	4
No. 3	子どもの体力向上を図る取組の推進	6
No. 4	教職員の資質と指導力の向上	8
No. 5	教育機会均等の確保	9
No. 6	生涯学習の充実	11
No. 7	文化芸術活動の推進	13
No. 8	スポーツ施設の活用と整備	14
<b>3</b>	<b>教育委員会の活動状況</b>	<b>16</b>
(1)	教育委員選任状況	16
(2)	教育委員会会議	16
(3)	教育委員の主な活動状況	16
(4)	附属機関の状況	17
(5)	教育委員会の情報発信	18

## 1 点検及び評価制度の概要

### (1) 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条第1項の規定により、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検評価」という。）を行うことが義務付けられており、その内容を議会へ提出し、市民等に公表することで効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としている。

### (2) 点検評価の対象

点検評価の対象とする項目は、本市の教育の振興を図るために策定している「上天草市第3期教育振興基本計画」に掲げる20項目のうち、令和6年度において事業を実施した主要な8事業を選定した。

### (3) 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定により、点検評価の客観性を確保するため、各所管課が実施した点検評価（自己評価）について、次の4名の学識経験者が点検及び評価を行った。

（敬称略）

区分	氏名	所属等
学校教育関係	奥田 一之	上小学校長
	木原 徹	上天草高等学校長
社会教育関係	田中 道範	社会教育委員 子ども会連絡協議会長
	濱崎よしえ	社会教員委員 元教員

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検及び評価の結果

<点検評価対象事業一覧>

No.	上天草市第3期教育振興基本計画				担当課
	区分	基本方針	基本施策	事業名(施策)	
1	学校教育の充実	【基本方針1】 生きる力を はぐむ学校 教育の充実	豊かな心の 育成	ふるさとを大切にする 心の育成	学務課
2			確かな学力 の育成	時代の変化や教育のニ ーズに対応した教育の 推進	
3			健康で安全 な生活ので きる資質や 能力の育成	子どもの体力向上を図 る取組の推進	
4		【基本方針2】 学びを支える 教育環境の充 実	学習指導体 制の整備	教職員の資質と指導力 の向上	
5			教育環境の 充実	教育の機会均等の確保	
6	生涯学習の 充実と地域 文化の振興	【基本方針3】 生涯学習の推 進による地域 の活性化	生涯学習の 充実	生涯学習の推進	社会教育課
7		【基本方針4】 個性豊かな地 域文化の振興	地域文化の 振興	文化芸術活動の促進	
8		【基本方針5】 スポーツ文化 の振興による 地域の活性化	スポーツ機 会の充実	スポーツ施設の活用と 整備	

## 【学校教育の充実】

## 基本方針1 生きる力をはぐくむ学校教育の充実

## (基本施策) 1 豊かな心の育成

施策（事業名）	(1)ふるさとを大切に作る心の育成	担当課	学務課
概要	上天草市の未来の担い手である児童生徒が、ふるさとの歴史や文化、産業等について学ぶことで、よさを感じるとともに課題について考えることで、ふるさとを大切にしていこうとする姿勢や地元愛を醸成する。		

## 成果指標

	指標名	策定時 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和6年度)
(1)	「ふるさと（上天草市）の良さや課題が言える」と回答した児童生徒の割合	良さ：88%（中2） 課題：63%（中2）	良さ：95% 課題：95%	該当なし
(2)	「将来ふるさと（上天草市）の役に立ちたいと回答した児童生徒の割合	64%（中2）	90%	96%

## 令和6年度の主な取組実績

- 郷土愛を育む取組の推進
  - ・社会科の副読本「わたしたちの上天草市（小3，4年対象）」、道徳科副読本「だいすき上天草市（小3～6年対象）」の活用
- 総合的な学習の時間等におけるふるさとに関する教育の推進
  - ・小学校低学年では、生活科において、地域探検学習の実施
  - ・小学校中・高学年では、海や自然、施設等に関する調べ学習をもとに発表会の実施
  - ・中学校では、地域企業や団体などと協働しながら、起業家教育プログラムを実践している。
  - ・地域の課題を知り（小学校）、課題解決型の教育を地域の方々と協同で取り組んでいる（中学校）。

## 成果（自己評価）

- ・郷土愛を育む取組の推進では、本市教育委員会で作成した「私たちの上天草市」及び「だいすき上天草市」を活用して授業実践を行うことができた。
- ・起業家体験学習を実施することで、上天草の課題が言える、将来上天草市の役に立ちたいと答えた生徒の割合が増加し、地域の人や課題などを深く学ぶことで、地域の将来に対して、主体的な意識が芽生えている。
- ・小中学校ともに、総合的な学習の時間において、組織的・計画的にふるさとに関する学習が実施されていた。

## 課題

- ・地域学習や体験学習に伴う地域人材及び予算（交通費や材料費等）の確保

## 今後の方向性

- ・子供たちが地域課題を知り、主体的に課題解決に向けた取り組みを考え、楽しみながら協働作業の中で試行錯誤を繰り返し実践する経験を多く積ませていきたい。

## 学識経験者の意見

- ・社会科の副読本、「私たちの上天草市」は小学校3、4年生対象で作成をされているが、前回改定されてから期間が空いているため、児童生徒や先生方の意見を反映してはどうか。

## 【学校教育の充実】

## 基本方針 1 生きる力をはぐくむ学校教育の充実

## (基本施策) 2 確かな学力の育成

施策（事業名）	(1) 時代の変化や教育のニーズに対応した教育の推進	担当課	学務課
概要	加速度的にグローバル化が進んでいる現代において、将来の上天草市を担う子供たちが、自らの将来を切り拓き社会に貢献できるための資質・能力を身に付けるような学びを充実する。		

## 成果指標

	指標名	策定時 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和6年度)
(1)	「授業にICTを活用して指導することができる」と回答した教師の割合	90.2%	100%	100%
(2)	英検3級以上相当の割合	22% (中3)	50% (中3)	25.8% (中3)
(3)	「問題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した児童生徒の割合	76.9% (小学生) 70.8% (中学生)	90% (小学生) 85% (中学生)	81.6% (小学生) 68.9% (中学生)

## 令和6年度の主な取組実績

- 情報活用能力を育てる教育の充実
  - 上天草市学校ICT教育推進協議会及び専門委員会を開催し、ICTの更なる利活用を図るため、授業支援や授業用ソフトについての検討及び研修を行った。
  - 市内4名のICT支援員による授業補助や校内研修等による実技研修を行った。
- 外国語教育の充実
  - 小学校では、低学年で英語活動、中学年で外国語活動(Let's Try!)、高学年で外国語科の実施。小中学校にALTを派遣したり、9つの小学校については英語専科教員による外国語科の授業をしたりして、専門性を生かした取組の充実を図った。
  - 小学校6年生、中学1年生～3年生を対象に、英検の受験料を補助することにより、児童・生徒が目標をもって英語学習に取り組めるよう環境を整備した。
- キャリア教育
  - 中学校では、起業家教育を行い、自ら課題を見つけ、解決方法を考える力や新しい価値を創造する力を養うとともに、社会的・職業的自立の基礎となる態度等の育成を図った。
  - すべての小中学校で、「キャリアパスポート」を活用し、教育活動全体を通じたキャリア教育の推進に努めた。
- 生きる力推進会議及び研究推進校の取組の充実
  - 生きる力推進会議を年度初めと終わりに実施し、本市の学力の現状分析や対策の成果等についての協議を行った。
  - 研究推進校であった姫戸小、松島中の研究発表会では、市内の全職員で授業の在り方や学力向上に向けた協議を行った際に積極的にICT機器を活用した。

## 成果（自己評価）

- タブレット端末を中心に、小中学校で児童生徒も教師も日常的に使うようになった。
- 英検受験料の補助を実施したことで、特に、中学1, 2年生の受験者が増え、英語力向上に向けた生徒自身の動機づけにつながっている。
- 中学生を対象に実施する起業家教育では、各校が独自に計画立案から実行まですべて行い、各地域の特色を生かした自走式の活動となっている。
- 生きる力推進会議は、本市の学力の現状分析し、対策を考える貴重な機会となった。
- 研究推進校では、発表までの期間に校内での検討を重ね、教員一人一人が授業についての研究を深めることができた。

<b>課題</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の指導力を高めるために、ALTの更なる活用や指導力の向上に取り組んでいく必要がある。</li> <li>・研究が一過性のものにならないように、継続して取り組んでいく必要がある。</li> </ul>
<b>今後の方向性</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上天草市の児童生徒が、問題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組むような自立した学習者になれるように、この4つの取組を継続するとともに、国や県教育委員会、天草教育事務所の取組の方向性を注視しながら、併せて進めていく。</li> </ul>

<b>学識経験者の意見</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検3級以上相当の割合の目標値を県の指標にあわせ、中学3年生の50パーセント以上としているが、非常に厳しい目標であると考え。受験料の補助もあるが、英検3級以上になると2次試験の面接試験が、天草管内では、天草高校でしか受験できないため、上天草市にも会場を設置すると受験しやすくなるのではないかと。</li> <li>・現在は、各児童生徒にタブレットが配布され、児童生徒が宿題にタブレットを活用し、キーボード入力にも慣れてきている様子が見られ、デジタル機器への適応が進んでいると評価する。一方で、手を使って書く学習も重要性であり、頭と手を同時に使うことで理解が深まる内容もあるため、活用の仕方が重要であり、タブレット一辺倒ではなく、紙とデジタルを適切に使い分けることが望ましいのではないかと。</li> </ul>

【学校教育の充実】

基本方針1 生きる力をはぐくむ学校教育の充実

(基本施策) 3 健康で安全な生活のできる資質や能力の育成

施策(事業名)	(1)子どもの体力向上を図る取組の推進	担当課	学務課
概要	部活動の社会体育移行に伴い、体を動かす運動や遊びの機会が少なくなっていることから、学校生活の中で運動をする機会の充実を図っていくことが必要。		

成果指標

	指標名	策定時 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和6年度)
(1)	全国体力・運動能力調査の 平均値 (※)調査対象:小5、中2)	小学校(男女) 全国平均を上回る  中学校(男女) 全国平均を上回る	小・中学校ともに 全国平均を上 回る	小学校(男女) 全国平均を上回る  中学校(男女) 全国平均を下回る

令和6年度の主な取組実績

小学校の取組

- ・朝のランニングを年間通して行ったり、夏季は全校児童でラジオ体操を行ったり、冬季は天草郡市小体連主催の長縄大会に向けた練習を行ったりするなど、継続した運動できる場と状況を設定した。
- ・異学年で交流する全員遊びを体育委員会が中心となって計画し、楽しく運動できるような取組を行った。また、「体力アップ大作戦」等を考え、実態に合わせながら各校で実施した。
- ・体力向上や様々な動きの習得を目指したサーキットトレーニングを考え、体づくり運動で取り組んだ。
- ・個人結果と参考資料を各家庭に配布し、家庭と現状を共有しながら、課題に即した運動に体育の時間に取り組んだ。
- ・校内研修で、昨年度のPDCAサイクルから見えた重点課題を位置づけた授業づくりや運動療育に応じた主運動につなぐ運動を紹介するなど、体育の授業力向上を目指す研修を実施した。
- ・地域の運動クラブの指導者と情報交換をすることで、児童の運動能力を多角的に見取った。
- ・ICT機器を活用し、個々の達成度を見えるかしながら取り組んだ。

中学校の取組

- ・各授業の導入時に、体力向上を目標としたトレーニングを実施した。また、どの単位においても授業の流れを同じにすることで、生徒が見通しをもって授業に参加することができるとともに、運動量の確保にもつながった。
- ・各単元のオリエンテーションで、身につく運動能力や正しい運動の仕方など知識面も身につくような授業づくりを行った。
- ・中体連陸上大会や駅伝大会に向け、練習に積極的に参加できる場と機会を確保した。
- ・ICT機器や学習カードを活用し授業の見通しを持たせ、授業後には活動の姿を客観的に振り返る活動を行った。

成果(自己評価)

- ・持久走大会や長縄大会等の取組を通して、児童の運動や自分の体力の向上への関心が高まった。
- ・体育委員会主催として、児童が主体的に取り組んだことで、児童自身が積極的に活動する雰囲気醸成された。
- ・長縄大会など縦割り班で取り組んだことで、それぞれの班が目標をもって、その達成に向け取り組む姿がたくさん見られた。
- ・朝ランニングに年間を通して取り組んだことで、児童が朝から運動する習慣が身についてきた。
- ・授業中にICT機器を活用しながら、スモールステップを意識しながら、相互評価をする場面を取り入れたことで、児童生徒一人一人が達成感を味わいながら、体育の授業に参加することができた。
- ・それぞれの種目で、得意な児童生徒がモデリングをして、技を見せたり、気を付けることを伝えたり、できるポイントなどを紹介したりすることで、児童生徒の自己肯定感が高まった。
- ・授業の導入で、新体力テストの結果から分析した個々の苦手な運動に継続して挑戦したことで、少しずつ結果が伸びてきた。
- ・運動部活動の指針に沿って、年間を通して、部活動の時間の確保を行い、自分の目標に向かって挑戦する場と機会を保障した。

<b>課題</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動能力や積極的に運動に取り組む児童生徒の二極化が見られる。特に、高学年や中学生になるとやってもできないからなどを理由に運動に苦手意識を持っている児童生徒も一定数いるので、運動に親しめる場や雰囲気作りや少しでも運動能力の伸びに達成感を味わえるような日常の声掛けの工夫が必要である。</li> <li>・ICT機器を授業等に活用しているが、より効果的に活用できるような研究や研修が必要である。</li> </ul>
<b>今後の方向性</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上天草市の児童生徒が、運動に親しみ、自己の体力の増進を図りながら心身ともに健康な生活が送れるよう小・中学校の主な取組を継続するとともに、家庭への啓発が十分できていないので、児童生徒の現状を正しく伝え、知・特・体のバランスの取れた成長にそれぞれの立場で関わっていくような啓発を行っていきたい。</li> </ul>

<b>学識経験者の意見</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績値では、小学校の調査結果が全国平均を上回る結果が出ている一方で、遊び場の減少や施設利用制限により、今後の体力低下が懸念される。特に夏場は暑さ指数により屋外活動が制限され、体育館も暑さにより使用困難な状況が続いている。一部の学校では、エアコンの効いた室内スペースでの活動が可能であるが、十分な運動量には至っていないため、年間を通じて運動機会を確保する取り組みが必要ではないか。</li> </ul>

## 【学校教育の充実】

## 基本方針2 学びを支える教育環境の充実

## (基本施策) 1 学習指導体制の整備

施策（事業名）	(1)教職員の資質と指導力の向上	担当課	学務課
概要	急速に変化する社会情勢の中、教職員が高度専門職としての職責、経験及び適正に応じた資質を身に付けるとともに、児童生徒に生きる力を育むための実践的指導力の向上を図る。		
成果指標	成果指標の設定なし		
令和6年度の主な取組実績	<p>1 各種研修会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会議（毎月）、教頭研修会（年2回）、教務主任研修会（年2回）、研究主任研修会（年1回）、特別支援教育研修会（コーディネーター研修やブロック別研修）等を実施した。</li> <li>・研修の際は、外部講師を招いた講話及びワークショップを行い、専門性の向上に努めた。</li> <li>・市内教育論文を募集し、個人及び学校の研究の場を確保するとともに、優れた取組を紹介した。</li> <li>・市指定の研究発表にすべての教員が参加し、授業改善に向けた協議等を行うことで、各自の授業づくりの知見が広がった。</li> </ul> <p>2 学校訪問・経営訪問の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問、経営訪問の他、校内研修推進事業など、本課指導主事が積極的に学校に訪問し、指導力向上に向けた講話等を行った。</li> </ul> <p>3 学校教育指導員による指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験が5年未満の教員を対象に、本市学校教育指導員による参観授業及び指導助言を行った。原則、一人3回ずつ実施し、指導力の向上に努めた。</li> <li>・学校の要請により、本課自立支援相談員による配慮を要する児童生徒へのかかわり方等の研修を実施することで、指導力の向上に努めた。</li> </ul>		
成果（自己評価）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会では、ICTを活用した授業の在り方や児童生徒に寄り添う生徒指導の在り方等を学ぶことで、時代に応じた職員の専門性を高めることができた。</li> <li>・教育論文では、9点の教育論文と10点の実践レポート応募があり、その中から、優れた論文をまとめて、各学校へ配付した。</li> <li>・指導主事や学校教育指導員による授業参観等による指導をとおして、教員一人一人の指導力向上につながった。</li> <li>・自立支援相談員の相談や児童生徒へのかかわり方の研修等により、各学校において配慮を要する児童生徒へのかかわり方に変容が見られた。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの教員に求められる役割が大きく変化し、「知識を教える人」から「学びを支える伴走者」となっている。これらの教育の変化に対応した研修の在り方や取組を行う必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の役割の変化に応じた専門職としての職責、経験及び適正に応じた資質を身に付けるための研修等を工夫改善していく。</li> </ul>		

## 学識経験者の意見

- ・教育論文について、以前は論文形式のみの募集であったが、近年は実践レポートも受け付けられるようになり、形式にとらわれず、授業研究や実践内容をまとめたものが提出可能となった。これにより、若手教員も取り組みやすくなり、授業で使用した資料などを活用して自主的に提出する例が増えており、教員の意欲的な姿勢が感じられ、実践を通じた学びの共有が進んでいると感じる。

## 【学校教育の充実】

## 基本方針2 学びを支える教育環境の充実

## (基本施策) 2 教育環境の充実

施策(事業名)	(2) 教育の機会均等の確保	担当課	学務課
概要	家庭の経済的状況に関わらず、全ての子どもが等しく質の高い教育が受けられるよう、環境を整備し、経済的な支援を行う。		
成果指標			
成果指標の設定なし			
令和6年度の主な取組実績	<p>1 安心して学習できる環境づくり</p> <p>【上天草市就学援助費扶助(以下「就学援助費扶助」という。)]</p> <p>○経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒または入学予定者の保護者に対し、就学に必要な学用品、修学旅行、給食費等の費用を援助した。</p> <p>・小学校 101名、中学校 47名 合計 11,253,336円</p> <p>【上天草市学校給食費補助金交付事業(以下「給食補助事業」という。)]</p> <p>○長引く物価高騰による保護者の経済的負担軽減と子育て支援の推進を目的に、令和4年度から小中学生の学校給食費の一部補助を開始しており、令和6年度も継続して実施した。</p> <p>・補助の内容 (物価高騰分 1人月額500円×11月、第2子以降分 (学校給食費－物価高騰分500円)÷2×11月)</p> <p>・小学校11校 961名、中学校4校 515名) 合計 20,485,143円</p> <p>【上天草市奨学金貸与制度(以下「奨学金制度」という。)]</p> <p>○能力があるにもかかわらず、経済的な理由により修学が困難な者に対し、社会に貢献する人材の育成を図ることを目的に、奨学金を無利子で貸与した。</p> <p>・大学区分 月額30,000円(5名)、高校区分 月額20,000円(23名) 計7,320,000円</p>		
成果(自己評価)	<p>【就学援助費扶助】</p> <p>○就学援助費扶助は、学用品などの就学費用の援助により、保護者の経済的な負担軽減を図り、円滑な就学に結びつけることができた。</p> <p>【給食補助事業】</p> <p>○各小中学校において給食費の値上げが相次いだが、給食補助事業により、保護者の負担軽減を図った。子ども達に物価高騰前の変わらない安心で安全な給食を提供することができた。</p> <p>【奨学金制度】</p> <p>○奨学金の貸与により、修学困難者の救済と経済的な負担軽減を図ることができた。</p>		
課題	<p>【就学援助費扶助】</p> <p>○保護者が制度を知らず、認定基準を満たしているにも関わらず、申請時期が年度途中になることで、本来受給できるはずの額が減ってしまう。</p> <p>【給食補助事業】</p> <p>○今後も物価高騰が長引くことが予想されることから、引続き支援をする必要があるが、保護者の負担を引続き軽減するための財源確保ができるか危惧される。</p> <p>【奨学金制度】</p> <p>○日本学生支援機構や熊本県育英資金等の奨学金制度に比べ、貸与金額が低額であることから、特に大学区分について申請者が減少傾向にある。</p>		
今後の方向性	<p>すべての子どもが等しく質の高い教育を受けられるよう経済的困難を抱える子ども達の保護者に対し経済的な支援を継続する。</p> <p>【就学援助費扶助】</p> <p>○学校入学時における保護者への説明や市広報紙の情報掲載により周知を行っているが、より多くの保護者に本制度を知ってもらうため、効果的な周知の媒体や方法を検討する。</p> <p>【給食補助事業】</p> <p>○国の給食無償化の動きを注視しながら、本市で継続的に給食費補助を行う場合も想定し、現状に合った補助スキームを検討し、安心安全が学校給食を子ども達に提供できるよう努める。</p> <p>【奨学金制度】</p> <p>○継続して実施するとともに、奨学金の返還に要する経費を一部助成する未来への夢をつなぐ五橋奨学金返還助成金交付事業により、学校等卒業後も経済的な支援を行う。</p>		

### 学識経験者の意見

- ・奨学金の制度は、上天草高校の生徒も大変お世話になっている。その他バスの支援制度、いろいろな形で上天草高校は上天草市からご支援いただいているため、改めてお礼を申し上げる。
- ・奨学金の利用者が上限に達していないのならば、月額を引き上げる等の検討をしてみてはどうか。

## 【学校教育の充実】

## 基本方針3 生涯学習の推進による地域の活性化

## (基本施策) 1 生涯学習の充実

施策（事業名）	(1) 生涯学習の推進	担当課	社会教育課	
概要	市民が時代の変化に対応できる能力や社会に必要な知識などを身に着けることができ、文化的で生きがいのある人生を送ることができるよう体制を整備する。			
成果指標				
	指標名	策定時 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和6年度)
(1)	親の学び講座の参加者数	2,151人	2,300人	3,692人
(2)	青少年のボランティア・体験活動参加者数	680人	750人	502人
(3)	地域ボランティア参加者数	15,572人	17,000人	25,567人
(4)	中央公民館主催事業延べ参加者数	628人	700人	652人
(5)	市立図書館での図書貸出冊数	51,851冊	120,000冊	63,993冊
令和6年度の主な取組実績				
<p>1 家庭教育支援（親の学びプログラム） 申請のあった6団体に講座を開催。ほか、各学校において講座を開催している。</p> <p>2 ボランティア活動支援センター設置 社会福祉協議会にボランティア支援センター業務を委託し、青少年に対しボランティア活動など社会奉仕体験活動等の機会を提供。</p> <p>3 地域学校協働活動の推進 地域ボランティア（高齢者・成人・保護者等）と学校が相互にパートナーとして連携・協働して地域未来塾での学習支援、環境整備、授業の学習支援等を実施。</p> <p>4 中央公民館主催事業 外部等から講師を招き、いきいき成人大学を全15回実施し、のべ369人の参加があった。また、中央公民館講座「スマホ教室」を全6回実施し、のべ111人の参加があった。ほか、生涯学習発表会等を実施した。</p> <p>5 市立図書館 5つのイベントを全館共通で実施し、大矢野図書館では外部講師による子ども向けのイベントを冬休み期間に開催した。</p>				
成果（自己評価）				
<p>1 親の学びプログラムについては、学校独自で開催していることもあり、開催回数や参加者数が大幅に減っている。</p> <p>2 ボランティア活動支援センターについては、車いす・高齢者疑似体験、赤い羽根共同募金の街頭募金活動、災害ボランティアセンター運営協力員養成講座を行い、参加した児童生徒からは、車イスの操縦がとても大変で、大変そうな方を見かけたら手伝ってあげようと思いましたなどの意見が寄せられた。</p> <p>3 地域学校協働活動については、地域住民・老人会・商工会・地元業者・警察署など多くの方や団体と連携して登下校の見守りや体験活動支援、授業の補助等を行い、地域学校協働活動推進員をはじめ、地域の皆様方のおかげで学校行事を安心・安全に開催できたなどの意見が寄せられた。</p> <p>4 中央公民館主催事業については、60～70代が多く、また、参加者が固定している状況にある。</p> <p>5 市立図書館については、コーナー設置やイベントの実施など各館で工夫した取組を行うことで来館者数や貸出冊数の増加につながった。</p>				

## 課題

- ・中央公民館主催事業については、参加者のアンケート等を基に講座内容を選定しているが、参加者のみの意見ということもあり、参加者の年齢層が高く固定しているため、若い年齢層や参加者数を増やすための工夫が必要である。
- ・市立図書館は、図書館を利用したことのない層へのアプローチが必要である。

## 今後の方向性

- ・特に公民館講座については、更に参加者が増えるよう工夫しながら事業を推進する。
- ・市立図書館は、今年度システム更新により、利用者がより便利に図書館を利用できる環境となることから、新規利用者の獲得につなげる。

## 学識経験者の意見

- ・中央公民館主催事業について、参加者の年齢層が高く、参加者アンケート結果も高齢者の関心に偏っている。若い世代や子育て世代の意見を反映させるため、市の広報で事業内容やアンケート実施を広く周知したり、地域の回覧板を活用した無記名アンケートを実施してはどうか。また、土日開催など参加しやすい工夫も必要であり、今後の事業運営に向けて検討していただきたい。また、事業の名称である「いきいき成人大学」については、高齢者向けの印象が強く、若い世代の参加促進のためにはネーミングの見直しも検討すべきではないか。
- ・地域学校協働活動や登下校の見守り活動をはじめ、学校行事の補助は、老人会や婦人会が全面的に協力している。老人会や婦人会の協力がなければ地域イベントの運営が難しくなるため、地域活動の中心的存在として、今後も老人会や婦人会と連携を深めていく必要があるのではないか。
- ・市立図書館については、学習スペース等をさらに充実させることで、小中高校生の利用が促進されるのではないか。

## 【学校教育の充実】

## 基本方針4 個性豊かな地域文化の振興

## (基本施策) 1 地域文化の振興

施策(事業名)	(1) 文化芸術活動の推進	担当課	社会教育課	
概要	市民が文化芸術に親しむ機会を増やすことにより、市民の心豊かな創造性を育むことを目的とする。			
成果指標				
	指標名	策定時 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和6年度)
(1)	いきいき芸術体験教室 参加者数	576人	600人	336人
(2)	伝統文化継承団体数	11団体	13団体	8団体
令和6年度の主な取組実績				
いきいき芸術体験教室を中南小学校(劇団きらら)、姫戸小学校(劇団きらら)、龍ヶ岳小中学校(和楽器にぎわい座)の3校で実施。また、上天草市文化芸術振興事業(伝統文化継承支援事業交付金)として、8団体に160千円を交付したものの。				
成果(自己評価)				
いきいき芸術体験教室では、“想像力(創造力)を働かせる体験で今後の教育活動にも生かせそうなものがあった。“これまでの「見る」、「観る」、「聞く」、「聴く」という活動から、このような参加の形態もあるのかと感じた。今後の教育に是非生かしていきたい。”など、たいへん高評価を得ている。				
課題				
伝統文化継承では、団体構成員の高齢化が顕著であり、継承活動が困難になりつつあるため、保存方法の早急な検討が必要である。				
今後の方向性				
伝統文化継承では、活動が困難になる前に各団体の伝統文化を保存するため、映像での記録を進めるほか、新規加入者の募集への協力も併せて行っていく。				

## 学識経験者の意見

- ・伝統文化継承事業に関して、地域の祭りが高齢化により継続困難となっている。祭りの継続には、映像による記録保存や市職員の支援が必要はないか(又は「重要になるのではないか」)。また、獅子舞などの伝統芸能においては、地区ごとの担い手の縛りが継承の障壁となっている部分もある。若者の減少により担い手確保が難しくなっている中、そのような縛りをなくし、伝統文化の継承を各小中学校の児童生徒が担う形も有効ではないか。

【学校教育の充実】

基本方針5 スポーツ文化の振興による地域の活性化

(基本施策) 1 スポーツ機会の充実

施策(事業名)	(2) スポーツ施設の活用と整備	担当課	社会教育課
概要	社会体育施設は築20年以上を経過しており、老朽化によるスポーツ活動での利用に支障が出るのが危惧されるため、施設の長寿命化を図るための維持管理に加え、利用しやすい環境を整備する。		

成果指標

	指標名	策定時 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和6年度)
(1)	体育施設利用者数 (指定管理施設を除く)	63,360人	70,000人	57,347人
(2)	スポーツ合宿利用団体数	60団体	100団体	31団体

令和6年度の主な取組実績

- ①スポーツ施設の利用拡大
- ・スポーツ合宿等誘致推進業務委託料
  - ・スポーツ合宿等誘致推進助成金  
上天草市スポーツの里づくり推進協議会に対し、スポーツ合宿誘致等に係る業務委託を行うとともに、本市においてスポーツ合宿等を行った団体(対象者:小学校、中学校、高校、大学、高等専門学校及び専修学校の生徒又は学生で構成される運動系及び文化系の団体)に対し助成金の交付を行った。
  - ・上天草市統合版アプリによる体育施設予約システムの構築準備  
LINEを活用した上天草市統合版アプリによる体育施設予約システムの構築を行った。  
(予約システムは令和7年4月から稼働中)
- ②スポーツ施設の整備
- 改修工事
    - ・大矢野総合体育館天井・屋根改修工事  
大矢野総合体育館のアリーナ及び武道場の天井及び屋根の改修工事。令和7年9月完成予定
    - ・松島総合運動公園グラウンド照明設備改修工事  
水銀灯の製造終了を踏まえ、松島総合運動公園陸上競技場、野球場、テニスコートのナイター照明設備LED化改修工事
    - ・姫戸運動広場照明設備改修工事  
水銀灯の製造終了を踏まえ、姫戸運動広場の照明設備LED化改修工事
  - 設計業務委託
    - ・社会体育施設非構造部材落下防止対策工事設計業務委託  
地震等の災害発生時に施設利用者の安全を確保することを目的とした非構造部材(照明器具、吊下式バスケットゴール等)の落下防止対策工事を実施するための設計業務委託。
    - ・姫戸体育館及び龍ヶ岳体育館アリーナ照明LED化設計業務委託  
水銀灯の製造終了を踏まえ姫戸体育館及び龍ヶ岳体育館のアリーナ照明をLED化するための設計業務委託。
    - ・高額紙幣対応券売機購入  
施設利用の利便性向上を目的に、大矢野総合体育館及び松島総合センター「アロマ」に高額紙幣対応の券売機を導入した。

成果(自己評価)

- ・スポーツ合宿誘致について、大矢野総合運動公園、松島総合スポーツ公園等の大規模改修工事に伴う利用可能日や時間帯に一部制限があったものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、徐々にではあるが回復兆しが見られている。
- ・電気料金の高騰、水銀灯の製造終了等の社会情勢を踏まえ、トータルのランニングコスト削減を目的に、体育館アリーナ及びグラウンドのLED照明への改修設計委託及び改修工事に取り組んだ。

## 課題

- ・社会体育施設を有効活用するためにも、スポーツ合宿誘致のみならず、各種スポーツ大会の誘致を積極的に行う必要がある。
- ・定期的なシステム改修及びブラッシュアップを行い、体育施設予約システムの利便性向上につなげる必要がある。
- ・施設の老朽化により、様々な不具合が発生しており、必要な改修を行いながら安全な施設の提供ができるよう継続した取り組みが必要。特に、非構造部材の落下防止対策及び水銀灯の製造終了に伴う照明器具のLED化は急務である。

## 今後の方向性

- ・統合型地域スポーツクラブ及び地域クラブの支援を行い、市民が気軽にスポーツを行う機会を創出することで市民のスポーツ実施率の向上を図り、スポーツを楽しむ人口の裾野を広げるため、安全に気軽に体育施設を利用できる環境の構築を進める。
- ・長寿命化計画に基づき、適正な施設の整備・改修と維持管理を継続して実施する。

## 学識経験者の意見

- ・先日（8/11）の豪雨で松島総合センターが利用できない状況であるが、各イベント開催の代替施設の調整、スポーツ合宿及びスポーツ大会の誘致に関して、さらに取り組んでいく必要があるのではないか。

### 3 教育委員会の活動状況

#### (1) 教育委員選任状況

【委員名簿】

令和7年3月31日現在

役職名	氏名	任期
教育長	岩崎 宏保	R5.7.2~R8.7.1
委員 (教育長職務代理者)	山下 洋人	R6.7.2~R10.7.1
委員	千原 めぶき	R5.7.2~R7.7.1
委員	藤田 慶	R4.7.2~R8.7.1
委員	木村 美矢子	R5.7.2~R9.7.1

※教育長の任期3年、委員の任期4年

#### (2) 教育委員会会議

会議は原則公開で行い、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催し、教育行政の実施に関する事項等の審議を行います。令和6年度においては、定例会を12回、臨時会を3回開催し、議案97件の審議を行いました。

なお、市民への積極的な情報提供を行うため、会議は傍聴でき、また、教育委員会定例会及び臨時会の会議録をホームページにも公開しています。

【議案の審議内容】

審議内容	件数
学校教育及び社会教育に関する一般方針の決定	1件
教育委員会規則その他委員会の定める規程の制定及び改廃	13件
県費負担教職員の任免その他の進退についての内申	1件
使用教科用図書の採択	1件
附属機関の委員その他の非常勤の職員の任免及び委嘱	15件
児童及び生徒の就学すべき学校を指定した通学区域の設定及び変更	14件
情報公開	6件
その他特に重要な事項(区域外就学、就学援助、教育支援委員会諮問、特別支援学級就学、事務点検及び評価報告)	46件
その他の議会の議決を経るべき議案	0件

#### (3) 教育委員の主な活動状況

##### ア 学校訪問

市内の小・中学校を訪問し、教育課程、学習指導、生徒指導その他専門的事項について指導・助言等を行うとともに、その学校の取組みや抱えている課題の把握に努めました。これに、教育委員も参加し、校長との意見交換や授業・施設の視察等を行いました。

### 【学校訪問の状況】

区 分	対 象	期 日	教育委員の出席状況
小学校訪問	10校	R6. 6. 24～R6. 12. 3	延べ25人
中学校訪問	3校	R6. 10. 4～R6. 11. 21	延べ8人

### イ その他の主な会議や行事

会議・行事名	期日	教育委員の出席状況
上天草市総合教育会議	R6. 8. 7	4人
市内小中学校入学式	R6. 4. 8	延べ8人
市内小中学校卒業式	R7. 3. 7	延べ7人
上天草市人権講演会並びに青少年育成市民大会	R6. 7. 27	1人
令和6年上天草市成人式	R7. 1. 3	4人

### (4) 附属機関の状況

政策等を立案するに当たり、専門的な判断を要する事案等について、各関係者の意見を広く聴取し、様々な角度から議論を行うため、附属機関を設置しています。審議会等の開催状況は、次のとおりです。

審議会等の名称	開催回数	主な審議内容
奨学生選考委員会	1回	奨学生・特別奨学生の選考
教育支援委員会	2回	心身に障がいのある児童生徒の就学支援
いじめ問題対策連絡協議会	1回	いじめ問題に係る現状報告、情報交換、意見交換
いじめ問題専門委員会	1回	いじめ問題に係る現状報告、情報交換、意見交換
学校運営協議会（各学校開催）	2～3回	学校運営の方針の説明、学校運営に係る支援・協力及び改善等協議
社会教育委員会	1回	社会教育（生涯学習）全般に係る現状報告、情報交換、意見交換
図書館協議会	2回	図書館運営に係る現状報告、情報交換、意見交換
スポーツ推進審議会	1回	各種補助事業の報告 情報交換、意見交換

#### **(5) 教育委員会の情報発信**

教育に関する制度や手続き等の周知を図り、教育行政の取組に関心をもつていただくため、市のホームページや広報「上天草」を活用し、市民の皆様へ様々な情報を提供しています。

また、イベント等の情報については、防災行政無線を活用するなどし、情報発信に努めました。

なお、教育委員会の定例会や臨時会の会議録についても市のホームページに掲載し、情報提供を行っています。